

東日本大震災に際しての福島原発事故発生	以降、脱原発を主張する声がマスコミやイン	ターネット上で高まっている。だが、原子力	発電に頼らずに現代の文明社会を維持してい	くことは、現実的に可能なのだろうか。	確かに、福島原発事故だけでなく、アメリ	カのスリーマイル島原発事故や、旧ソ連のチ	エルノブイリ原発事故など、原発がひとたび	事故を起こせば大きな被害が引き起こされる	のは事実である。脱原発論者は、地球温暖化	と原発事故を回避する手段として、風力や地	熱、太陽光などの自然エネルギーの推進を主	張しているが、そのような再生可能エネルギー	ーの研究と開発はもちろんだいに進めていく	べきだろう。しかし、現代人の生活が一日で	も電力の供給を止められれば、多くの人々の	生死に関わる、地震以上の大災害となるであ	ろうこともまた事実である。また、地球温暖	化を回避するためには、二酸化炭素の排出量	を減らしていかなければならず、火力発電に依存
---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	--------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------

し	て	い	る	わ	け	に	は	い	か	な	い	が	、	現	在	の	と	こ	ろ
自	然	エ	ネ	ル	ギ	ー	で	ま	か	な	え	る	電	力	は	、	ど	ん	な
に	頑	張	っ	て	み	て	も	国	民	生	活	の	数	パ	ー	セ	ン	ト	に
過	ぎ	な	い	。	そ	ん	な	状	況	で	原	発	を	止	め	て	し	ま	つ
た	ら	地	球	環	境	も	、	人	々	の	生	活	も	守	っ	て	い	く	こ
と	は	出	来	な	い	だ	ろ	う	。										
	グ	ラ	フ	2	に	も	示	さ	れ	て	い	る	よ	う	に	、	化	石	燃
料	は	二	酸	化	炭	素	を	排	出	す	る	だ	け	で	な	く	、	や	が
て	枯	渴	し	て	し	ま	う	資	源	だ	。	こ	の	ま	ま	化	石	燃	料
が	な	く	な	っ	て	し	ま	え	ば	、	現	代	の	よ	う	に	膨	れ	上
が	っ	た	人	口	を	養	う	こ	と	は	出	来	な	く	な	る	。	人	類
は	、	未	曾	有	の	危	機	に	直	面	し	て	い	る	と	言	っ	て	い
い	。	だ	か	ら	こ	そ	、	再	生	可	能	エ	ネ	ル	ギ	ー	の	研	究
開	発	と	同	時	に	、	原	子	力	発	電	の	安	全	性	の	研	究	開
発	も	、	全	世	界	規	模	で	協	力	し	合	い	な	が	ら	、	同	時
に	進	め	て	い	か	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	の	だ	。	そ	の	よ
う	な	危	機	意	識	を	持	つ	こ	と	な	く	「	脱	原	発	」	を	唱
え	る	の	は	、	あ	ま	り	に	も	無	責	任	で	あ	り	、	怠	慢	で
あ	る	。																	
人	類	の	置	か	れ	た	現	実	に	し	っ	か	り	と	目	を	向	け	

れば、原発の安全性の向上に関心に向け、協
力していくしかないことがわかる。それが現
代を生きる地球人類としての最低限のモラル
であろう。